

# 東日本大震災岩手県共同対策本部ニュース

事務局  
いわて労連  
No.15  
2011.4.25

## ◆大船渡センター大所帯で活動

4月21日、金野事務局長は江刺の千葉技建からボランティア移動のためのマイクロバスを借りて大船渡の民宿あづま荘に向かいました。



移動用マイクロバス

(以下金野レポート)

現地では責任者の村上和雄さんと合流し、ボランティア用の布団を補充しました。昼食後、村上さん、秋田の米山さん、愛媛の伊藤さんと私の4人で大船渡市社協でボランティア受付し、肩にシールをはりました。午前中から活動していた全労連の寺間さんたちの班と一緒に綾里小学校近くの千田さん宅の片付け作業を行い、津波で汚れた障子や襖を水で洗い流しました。



千田様宅でボランティア

4時過ぎに社協に戻って肩のシールをはがして返します。宿舎に戻り、夜7時過ぎに東京から共同バスで21人が到着し、40人以上の大夕食会となりました。あづま荘に泊まりきれないため、京都総評の参加者など13人が私の運転するマイクロバスで移動し、夏虫温泉に分宿しました。



40人もの大夕食会

4月22の朝は全教の参加者の指導の下でストレッチ体操を行ったあと参加者全員で記念撮影を行いました。その後、全労連の斎藤さんが運転する1号車と金野が運転するマイクロバスと愛労連の車に分乗してボランティアセンターに向かいました。マイクロバス組は20人で日頃市中学校の体育館で支援物資の仕分けを行いました。体育館には数えきれないほどたくさんの段ボール箱が山積みされておりました。男性物は左、女性物は右に大きく分かれていました。参加者は4、5人ずつ、パンツ、靴下、シャツ、もも引き担当にチームを編成し、私はシャツ組に入りました。シャツは、長袖、半袖、ランニング毎にSからLLまでサイズ毎に分けて枚数を数えて指定の用紙に品名サイズ枚数などを書き入れ段ボール箱に張り付けて重ねます。最後は、大人の紙オムツの仕分けを行いました。平オムツとパンツタイプ、S~Lに分けて中の枚数を数



体育館に集まった支援物資

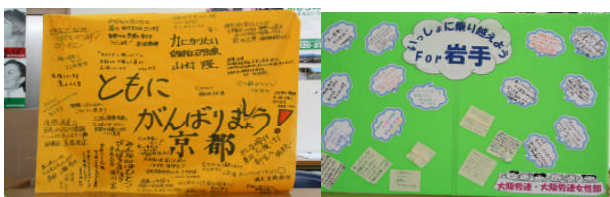
えました。全国からの支援に感謝しつつ、作業を行いました。

## ◆全労連近畿ブロック激励と支援

全労連近畿ブロックでは東北支援を決め、4月23日に大阪労連、兵庫労連、京都総評、和歌山県地評、奈良労連から6名がいわて労連を訪れました、同日、50万円のカンパと激励の寄せ書きを頂きました。



全労連近畿ブロック来盛



京都から激励寄せ書き 大阪から激励のパネル

## ★建交労、陸前高田市と大船渡市に救援カンパ

建交労岩手県本部では、4月14日、陸前高田市役所・大船渡市役所を訪れ、各30万円の救援カンパを届けました。被災直後には、みんなで米・野菜等を持ち寄り陸前高田市の避難所に届けています。4月になって、同市で支援活動をしていた仲間から「今はとにかく現金が必要だ」と声上がり救援カンパの準備を進めてきました。

各地で仮設住宅の建設が始まりすでに入居した所もあります。しかし希望者に行きわたるには時間がかかり、避難所での生活が長引くようです。被災地は、山友建設支部から車で40分しか離れていません。これからも支援活動を続けていきます。

(山友建設支部細川光巨書記長)

## 4/28 全国いっせい「大震災・緊急労働相談110番」

被災地は連日、相談活動が続いていますが、全国一斉の実施です。

**実施日：4月28日(木) 10:00~18:00**  
**TEL 0120-378-060**

東日本大震災は、地震、津波、放射能汚染のトリプルパンチという未曾有の災害となり、その影響は全国に広がっています。全労連は、はたらく人たちの雇用とくらしの安定、中小企業の再建こそが震災復興のキーワードととらえ全力で支援しています。



## ★4・14中央行動

全労連は4月14日、岩手や宮城、福島の実表も参加して、約700名で国会請願デモ、院内集会、政府等への申し入れ(震災対策本部、原発対策本部、東京電力、民主党など)行動などをおこないました。鈴木露通本部長(いわて労連議長)が車の上から被災地の実情を訴えました。



訴える鈴木本部長